研究機関：広島大学

研究課題名	黄斑疾患の硝子体手術の術後成績と予後因子について
研究責任者名	広島大学大学院医系科学研究科視覚病態学　教授　木内　良明
[redacted]	

対象者

2016年1月から2025年3月の間に、広島大学病院眼科で黄斑疾患による硝子体手術を受けられた患者さん。

意義・目的

黄斑疾患（黄斑上膜、黄斑円孔）に対し、硝子体手術を受けた患者を後ろ向きに調査して術後成績と予後因子を検討します。

方法

本研究は，診療録（カルテ）情報を調査して行います。

カルテから使用する内容は年齢、性別、術前後の視力、黄斑円孔径、眼軸、術者、自覚症状がでてから手術までの期間、網膜厚、術後の外境界膜、ellipsoid zone の復元率、閉鎖率、網膜感度、OCTangiography　です。

（個人を特定可能な情報は解析に用いません）

共同研究機関